


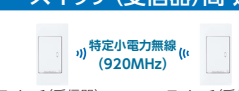
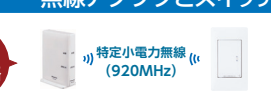

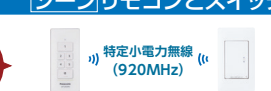

## 通信機器の設置状況について確認する

建物の構造や設置場所などにより、電波の到達を補う無線中継器の設置が必要になる場合があります。あらかじめ通信機器の設置状況について確認を行ってください。

- 2線式スイッチの場合、設定を始める前に、各スイッチに負荷が接続されていることをご確認ください。
- 3/4線式スイッチは負荷が未接続でも設定作業を進めることができます。

### 確認 1

#### 機器別の電波到達距離と最大接続回路数について

<b>スマートフォンとスイッチ(受信器)</b>  Bluetooth 通信距離約10m 最大 50回路	<b>スイッチ(受信器)間 通信距離</b>  特定小電力無線 (920MHz) 通信距離 (水平見通し)約30m
<b>無線アダプタとスイッチ(受信器)</b>  特定小電力無線 (920MHz) 電波到達距離 (水平見通し)約30m 最大 50回路	<b>一括OFF発信器とスイッチ(受信器)</b>  特定小電力無線 (920MHz) 電波到達距離 (水平見通し)約30m 最大 50回路
<b>シーンリモコンとスイッチ(受信器)</b>  特定小電力無線 (920MHz) 電波到達距離 (水平見通し)約10m 最大 10回路	<b>無線中継器とスイッチ(受信器)</b>  無線アダプタ ※1 無線中継器 ※2 特定小電力無線 (920MHz) 特定小電力無線 (920MHz) 電波到達距離 (水平見通し)約30m 最大 20回路

※1 無線アダプタやAiSEG2がある場合の無線中継器配下に登録できるスイッチ回路数です。スイッチ(受信器)間、および一括OFF発信器とスイッチ(受信器)間の通信は、無線中継器を設置し設定することですべて中継されます。

※2 無線中継器は1台のみ設置できます。

### 確認 2

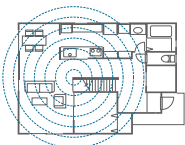
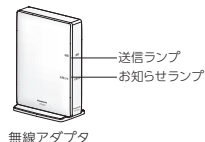
#### 無線アダプタ/AiSEG2・無線中継器の設置場所について

無線アダプタ/AiSEG2 設置の場合はインターネット接続用の無線ルーターが必要になります。

※施工設定における「AiSEG2に名称を送信」の際はインターネット接続は必要ありません。

▶P.14へ

無線中継器は家の中心部に設置すると各スイッチ(受信器)まで電波が届きやすくなります。



#### 無線中継器設置の目安

2階、3階建てに関わらず、一括OFF発信器、各種スイッチ(受信器)、無線アダプタの電波が届く目安は延床面積400㎡までです。電波到達距離が足りない場合は無線中継器でカバーすることができます。

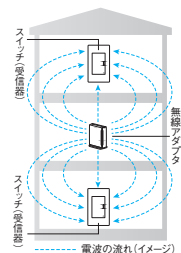
すべてのリンクプラス各種スイッチ(受信器)間で通信を行うため、延床面積400㎡以上の場合、無線中継器の設置を推奨いたします。ただし、RC構造や壁式コンクリートの場合や木造でも床暖房、遮音シート、浴室を経由する場合は電波の届く距離が短くなりますので、無線中継器の設置を推奨いたします。特に、地下は電波が回り込みにくいためご注意ください。

※リンクプラス各種スイッチ(受信器)間および一括OFF発信器とスイッチ(受信器)間は、すべて中継します。

※無線アダプタ/AiSEG2に登録するスイッチ(受信器)は、最大20回路まで中継可能です。

※当社の実測値をもとに算出した目安の値であり、保証するものではありませんのでご了承ください。

※実際の建物の構造、使用環境・状況により電波到達距離が短くなったりすることがありますので、電波到達距離が足りない場合は無線中継器の設置をお願いします。

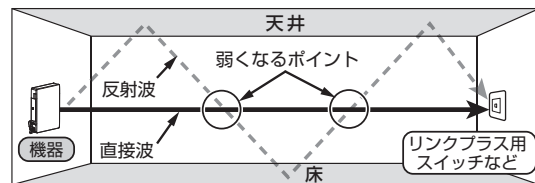


### 使用環境のご注意

■下記のような使用環境では、電波(ノイズ)の影響を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合、動作しないことがあります。

- スイッチ(受信器)と機器との間に金属や鉄筋コンクリートや、床暖房、遮音シート、浴室などの電波を通しにくい障壁がある。
- スイッチ(受信器)と機器を設置した壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 機器の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- 金属物の壁面に機器を取り付けている。
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の2m以内にある。
- 機器の近くで、直流電圧で駆動するペルやモーターなどが動作している。
- 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- 機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- テレビ、ラジオの送信所近辺などの強電界地域または近くに各種無線局がある。
- 当社の小電力型ワイヤレス商品(住まいるサポ、ワイヤレス連動型住宅用火災警報器など)が、機器の2m以内に設置されている。

■到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますのでご注意ください。



#### 機器間で電波干渉を防ぐために

- 各種スイッチ(受信器)・無線中継器から2m以上離してください。

■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のために機器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。